

海洋科学基地

■政府、独島総合海洋科学基地着工することに（総合）

[聯合ニュース 2011.4.4 キム・ボムヒョン、ノ・ジェヒョン記者]



離於島総合海洋科学基地の様子（資料写真）

政府が独島の実効的 支配を強化するために、今月独島総合海洋科学基地工事に着手する予定だ。

政府は、日本の独島領有権主張と関連し、4 日午前開催したハンナラ党と緊急懇談会と、午後国会独島領土守護対策特別委員会の全体会議を控えて、国会に事前に報告した資料でこのような方針を明らかにした。

政府は、今月陸上での独島総合海洋科学基地の構造物の製作に着手した後、来る 12 月までに組み立てを完了する計画だ。

海洋科学基地

総合海洋科学基地は独島北西方向1 km 海上に建設される鉄骨基地（延べ面積約2 千700 m²、事業費 430 億ウォン【日本円で約33億円】）で、東海の海洋、気象、地震及び環境などを観測する装備を備えるようになって、普段は無人自動化システムで運営される。

政府はまた、今年中に独島に海水の通過が可能な防波堤（長さ 295m、幅 20m）の建設についての基本設計を完了して、来る 7 月竣工予定だった独島住民宿泊所工事を 5 月初旬までに完了することにした。

チョン・ジョンファン国土海洋部長官は、緊急の党政（※与党と政府）懇談会で「実効的支配のための事業をスピーディーに推進する」と明らかにした。

特に、チョン長官は「鬱陵島軽飛行場事業が予備妥当性（予妥）にかかって執行にならないが、一般的事業と異なり、対日関係などを勘案して、また予妥（※予備妥当性の調査）を実施しなければならない」というハンナラ党ギム・グァンニム議員の主張に「(予妥を)政策的にまた推進する問題を積極的に検討する」と答えた。

同時に政府は、今月 1 日独島がわが国の領土であることを強調する学習副教材を刊行、全国の小学校に配布し、これから独島教育広報館の設立も推進することにした。

また独島の国際的広報強化のために、東北アジア歴史財団傘下の独島研究所のロシア語及び中国語のインターネットサイトを開発して、インターネットで「東海独島表記の間違い申告センター」を開設する一方、4 月中に日本国内の右翼教科書の採択阻止を目的に日本の地方自治団体及び学校担当者とワークショップを開く方針だ。

これ以外に、政府は来る 5 月独島問題を含む歴史教育強化策の基本計画を確定し発表して、今年8 月教師 120 人と学生 800 人を対象に独島現場体験を実施すると明らかにした。

kbeomh@yna.co.kr

nojae@yna.co.kr

2011/04/04 14:36 送稿

<http://www.yonhapnews.co.kr/politics/2011/04/04/0502000000AKR20110404127200001.HTML>